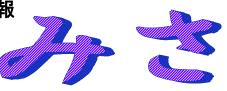
(み)未来を見つめ

(さ)支え合い、磨き合い

と 共に高まる 美里っ子







令和6年8月27日

男鹿市立 美里小学校

文責:校長 櫻庭直美

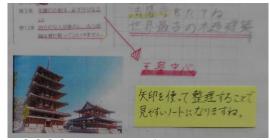
今、本校のプールの周りには、夏休みを終えた子どもたちを明るく元気づけるかのように、ヒマワリが大輪の花を咲かせています。

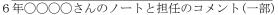


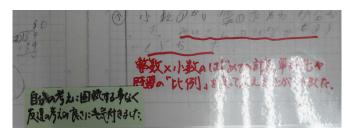
夏休み明けの初日には、思い出をたくさん 詰め込んだ荷物を抱え、日に焼けた元気いっ ぱいの顔で登校した子どもたち。I か月の間、 子どもたちが健康で安全に過ごせるよう、見 守り、見届けてくださった保護者・地域の皆 様、児童クラブの先生方など多くの方々のご 協力に感謝しております。 これから10月中旬の前期終了の時期まで、 学校での教育活動を再開します。先日、これ までの日常の取組について教職員で振り返る 機会をもちました。有効な手立ては更に工夫 し、課題があった点は改善を図るなどして、 協力体制を強くして取り組んでいきたいと考 えます。

◆「ノート」で鍛える学び方◆

夏休み前、学校では「ノートの書き方を工夫しよう」という学習目標と関連付けて「ノート展」を行いました。子どものノート記述に対して、担任がそのよさを認めるコメントを付箋紙に書いて掲示したのですが、そのうち5・6年生のものから2つ紹介します。







5年○○○○さんのノートと担任のコメント(一部)

ノート記述に対して、6年生の担任は「矢印を使って整理することで見やすいノートになりますね」と、5年生の担任は「自分の考えに固執する事なく友達の考えの良さに気付きました」とコメントしています。どちらのコメントも、子どもの学び方に関する適切さを認めるものと言えます。デジタルによる記録の仕方が広がっている現在、授業でもタブレットとノートのそれぞれの特長を生かして併用するよう工夫しているところですが、今回の「ノート展」から、子どもたちはノートに書くという活動を通して、様々な学び方を経験しながら、自分らしい学び方を身に付けていっていることが伝わってきました。今後も教科等の知識・技能はもちろん、学校以外でも使える学び方やものの見方・考え方が身に付くようにすることが大切だと再確認したところです。

9月の学習目標は「家庭学習に進んで取り組もう」です。習慣となり、楽しんで続けることができるよう、学校とご家庭とが協力して取り組んでいくことができればと思っております。

☆ 美里っ子の活躍 ☆

この夏休みの間にも、日頃努力している活動や学習の成果を存分に発揮しています。 各種大会等での活躍が盛りだくさんです。おめでとうございます。

	男鹿市、	潟上市、	南秋田郡席書大会	(7月25日)	
[男鹿市、潟上市、南秋田郡席書大会 (7月25日) 硬筆 ※優秀賞の皆さんを紹介します。				

優秀 ○○○○さん(1年)、○○○○さん(1年)、○○○○さん(1年)、 ○○○○さん(1年)、○○○○さん(2年)、○○○○さん(2年)、 ○○○○さん(2年)、○○○○さん(2年)、○○○○さん(2年) ☆このほか、1年生3名、2年生5名が優良賞となりました。

毛筆 | ※入賞した皆さんを紹介します。

銀賞 〇〇〇〇さん(3年) 銅賞 ○○○○さん(3年)、○○○○さん(3年)、○○○○さん(4年)、 ○○○○さん(5年)、○○○○さん(5年)、○○○○さん(6年)、 ○○○○さん(6年)

☆このほか、3年生2名、4年生7名、5年生4名、6年生3名が入選となりました。



第17回旭富士杯争奪小中学校相撲大会(7月28日)

小学校団体低学年の部 第3位

[メンバー] 〇〇〇〇さん(3年)、〇〇〇〇さん(3年)、〇〇〇〇さん(1年)

個人 小学校 | 年生の部 第 | 位 ○○○○さん 個人 小学校6年生の部 第3位 0000さん



第25回秋田県女子相撲選手権大会(8月11日)

個人戦小学校5・6年の部 **優勝** ○○○○さん(6年)



三種町招待学童相撲大会(8月14日)

個人戦 | 年生の部 優勝 00000個人戦3年生の部 第3位 ○○○○さん



第22回東北学童軟式野球新人男鹿市予選大会(8月18日)

男鹿スピリッツ野球スポーツ少年団

[美聖小メンバー] ○○○○さん(5年)、○○○○さん(4年)、 ○○○○さん(4年)、 ○○○○さん(3年)、

○○○○さん(2年)、○○○○さん(2年)、○○○○さん(2年)

美里小学校の情報をホームページで発信しています。 この学校報も、電子データで配信しています。 御覧いただき、子どもたちの活動を応援してくだされば嬉しく思います。



学習やスポーツ、文化 芸術などの分野を問わず、 子どもの頃に熱中したり 努力したりする経験は、 生涯にわたって、新たな ことに取り組む際の意欲 や自信につながると言わ れています。既に得意な とは更に伸びていって ほしいですし、加えて、 学校内外の様々な活動を 通して、今はまだ自覚で きていないかもしれない 新たな強みを発見するこ とも大切だと考えます。

